

## 編集後記

●特集1を読んでいると、友達の批判や文句を言ってくる子のさまざまな背景に気づかされます。意外だったのは、いわゆる優等生タイプの子も教師に訴えてくることがあるということです。教師への訴えを、子ども同士のコミュニケーションに移行させていく視点や手法も、なるほどと思いました。

●特集2はケース会議・事例検討会の特集です。PCAGIP法、問題解決型ケース会議、模造紙と付箋を使った手法が具体的に紹介されています。事前準備にかけられる労力を最小限にして参加者の負担を減らし、肯定的なトーンで「強み」に焦点を当てながら、参加者みんなが発言する。そのような場をシステムとして保障できると、まさに「元気が出る場」になるようです。「事例検討会というよりグループ・カウンセリングのようになることもよくある」という言葉が印象的でした。(こ)

## 次号のお知らせ

### 特集1 授業やワークでの「振り返り」の質を高める

「振り返りが『与えられた学習』を『自らの学び』に変える」「構成的グループエンカウンターとゲームとの違いは、振り返りの有無」などと言われます。さまざまな場面での振り返りの工夫を紹介します。

### 特集2 養護教諭の強みを活かした相談活動

養護教諭は、体の問題をきっかけに心の問題にアプローチするなど、いろいろな強みを持っています。どのような強みを、どう活かしているのか、具体的に紹介します。養護教諭との連携の参考にも!



# 月刊学校教育相談

2017年 平成29年 7月号

定価 800円 (本体 741円)

2017年7月1日発行

●発行所

## ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <http://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所

●発行人 小林敏史

●印刷所 研友社印刷(株)

## ほんの森掲示板

・7月増刊号『解決志向のクラスづくり 完全マニュアル チーム学校、みんなで目指す最高のクラス!』(黒沢幸子・渡辺友香/著)が発行になりました。

担任以外の人に、解決志向アプローチの視点で授業を5回見てもらうだけで、クラスが劇的に変化します。詳しくは、巻頭の綴じ込みをご覧ください。うまくいっているクラスづくりを分析した基礎研究をベースに、取り組みの効果が実証された「クラスづくりのプログラム」です。

●本誌の2017年4月号からの1年間の誌代は12,080円(税込 増刊号2冊を含みます)。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円(3冊以上送料サービス)でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

● **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている ※詳しくは奥付を! 資料のファイル(一太郎・ワード・パワポなど)を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索